

# 瀬戸内産カキ殻微粉末を用いたクライミング用液体チョークの開発

## 1 背景



カキ殻粉碎物  
(吉備胡粉)

瀬戸内産カキ殻の有効利用



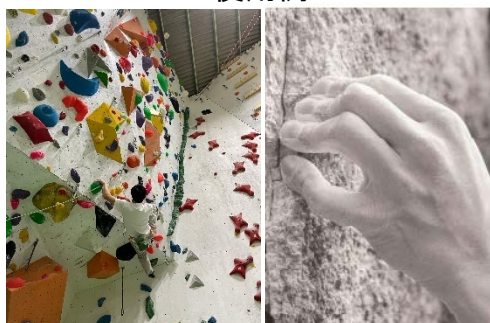
チョーク製品の開発

チョークの飛散・手指への付着性が課題

## 2 技術概要

従来技術：粉末チョーク

使用例



性能の違う2種類の粉末チョーク  
(ぬめり手用、乾き手用)

きらめき岡山創成ファンド支援事業（令和2年度）

開発技術：液体チョーク

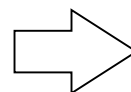
○材料の選定、配合比、粒度の最適化

- ・炭酸カルシウム（カキ殻粉碎物）
- ・炭酸マグネシウム（海水由来）
- ・セルロースナノファイバー（真庭産ひのき由来）
- ・液体（溶媒）

○摩擦力の数値化

○付着性、吸水性の評価

○分散性の安定化



調査協力  
一般社団法人 岡山県山岳・  
スポーツクライミング連盟

実用化技術開発事業（令和5年度）

## 3 成果の展開

山陽クレー工業株式会社（共同研究企業）  
が県内競技団体にサンプル提供を行い、  
令和6年度中の製品化を予定している。

